

## ◆ 今週のコメント

- ・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が379例(男性190例(10歳代12例, 20歳代40例, 30歳代18例, 40歳代29例, 50歳代25例, 60歳代22例, 70歳代27例, 80歳代10例, 90歳代2例, 年齢非公開5例), 女性182例(10歳代6例, 20歳代38例, 30歳代20例, 40歳代39例, 50歳代23例, 60歳代11例, 70歳代21例, 80歳代12例, 90歳代6例, 年齢非公開6例), 年齢及び性別非公開7例)あり, 累積報告数は2,643例となりました。  
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。  
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- ・ **アメーバ赤痢**(腸管外アメーバ症)の報告が1例(70歳代男性)(第50週追加報告分)ありました。症状は肝膿瘍で, 感染地域は国内, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は8例となりました。
- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例(90歳代女性)ありました。症状はDICで, 感染経路は医療器具です。本年の累積報告数は38例となりました。
- ・ **クロイツフェルト・ヤコブ病**の報告が1例(70歳代男性)ありました。症状は進行性認知症, ミオクローヌス, 錐体路症状, 小脳症状, 視覚異常, 精神・知能障害等です。本年の累積報告数は4例となりました。
- ・ **侵襲性肺炎球菌感染症**の報告が1例(60歳代男性)ありました。症状は発熱, 咳, 菌血症です。感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は24例となりました。
- ・ **梅毒**の報告が2例(30歳代男性及び40歳代女性, 各1例)(第50週追加報告分例含む)ありました。症状はともにリンパ節腫脹で, 感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は57例となりました。  
梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け, コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見, 早期治療が非常に重要です。

## ◆ 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は京都市で0.35(15例), 全国で0.31となり, 京都市は前週からやや減少, 全国はやや増加でした。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 2例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例)  
【1月以降の累積報告数 247例(肺結核 111例, その他結核 56例, 潜在性結核感染者 80例)うち喀痰塗抹陽性 51例】
- ・ 指定感染症: 新型コロナウイルス感染症 379例【1月以降の累積報告数 2,643例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢 1例【1月以降の累積報告数 8例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 38例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 24例】
- ・ 五類: 梅毒 2例【1月以降の累積報告数 57例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.65	71
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	35
	③ 咽頭結膜熱	0.35	15
	④ 突発性発しん	0.23	10
	⑤ 水痘	0.14	6
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

### 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <咽頭結膜熱>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2020年12月23日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。  
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2020年 第 週】



## 第51週(12月14日～12月20日)トピックス: <咽頭結膜熱>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は京都市で0.35(15例)、全国で0.31となり、京都市は前週からやや減少、全国はやや増加でした。(図1)。

図1に示す過去5年平均値は、週ごとの極端な変動を除いて時系列の傾向をわかりやすくするため、当該週にその前後週を合わせた3週の5年分、合計15週分の値を平均して算出しています。例年、第1週は医療機関が年末年始の休みとなるため、報告数は通常より大きく減少します。このため、第51週から第3週までの過去5年平均値は第1週の値の影響を受け、実際の流行状況を正しく把握できない場合があります。

京都市の現在の推移状況をより詳しく見るため、過去5年と本年、それぞれの年における移動平均値を前週・前々週・当該週の3週の定点当たり報告数を基に求めました。移動平均値をこのように取ることで、当該週における増加あるいは減少基調をより強調することができます。作成した推移グラフを見ると、6月から8月にかけてのピークの他に、11月ごろから年末にかけて増加する年が複数あります(図2)。

本年の推移は、各週の値を個別にみると、京都市では第45週から、全国では第41週から増加傾向にあるように見え(図1)、また、移動平均値のグラフからも同様の傾向が見取れます(図2)。過去の値をおおむね下回っていることから、流行といえる状況ではありませんが、増加傾向にあるため今後の発生状況に注意が必要と考えられます。

京都市の過去5年間の年齢階級別割合では、いずれも小学校就学前である6歳未満の乳幼児が全報告数の9割前後を占め、特に1歳が多く、今年も同様の傾向を示しています(図3)。

本疾患は小児の急性ウイルス性感染症で、39度前後の発熱、咽頭炎、結膜炎が主な症状です。主な感染経路は手指を介した接触感染と患者の飛沫による感染なので、タオルの共用は避け、流水と石けんによる手洗いが重要です。また、未就学児の感染が多数を占めることから、流行時には保育所、幼稚園等で集団発生する可能性があります。京都市では、これらの施設の管理者等に向けた、施設における感染リスクと対策に関する基本的な知識や押さえるべきポイントをまとめた冊子を発行しています。令和元年12月に改訂されていますので、以下のURLから最新版を御参照ください。

○京都市情報館「子どもたちを感染症から守るために ～子どもが集団生活をする施設の管理者・職員の方へ～」  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000048264.html>

図1 京都市の定点当たり報告数の推移

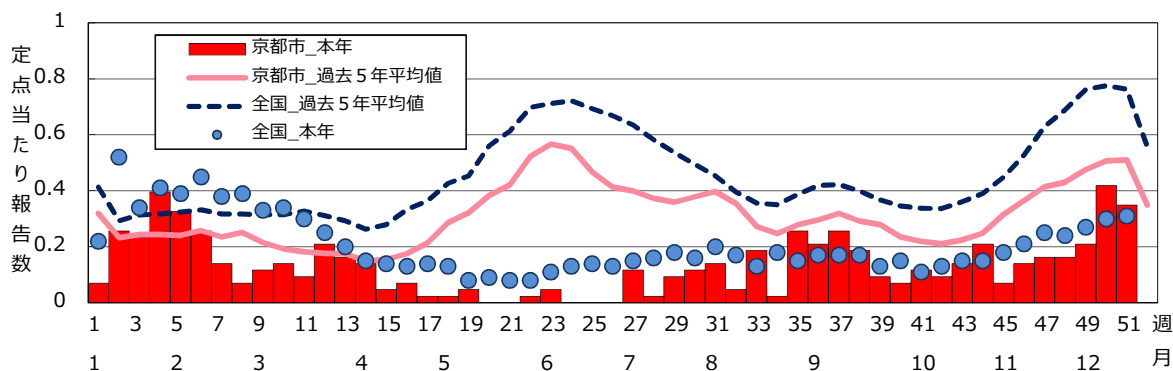


図2 京都市の過去5年間の報告数の推移(前々週・前週・当該週の移動平均)

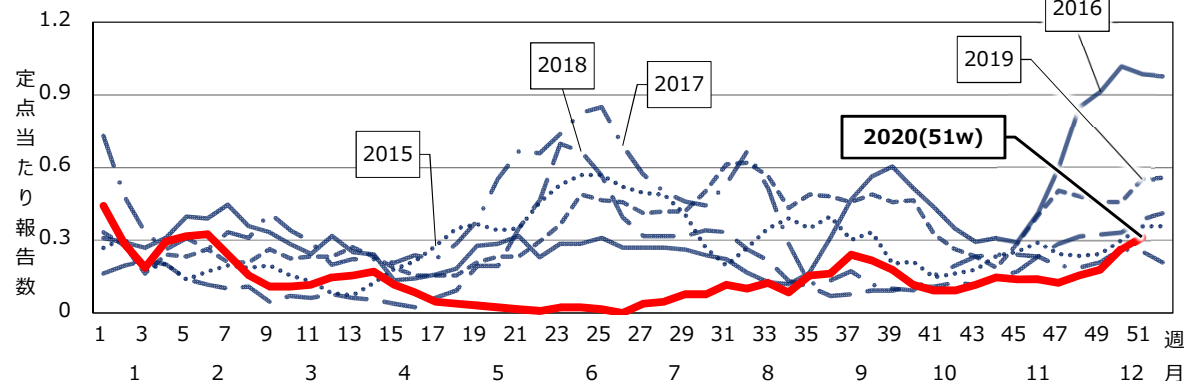
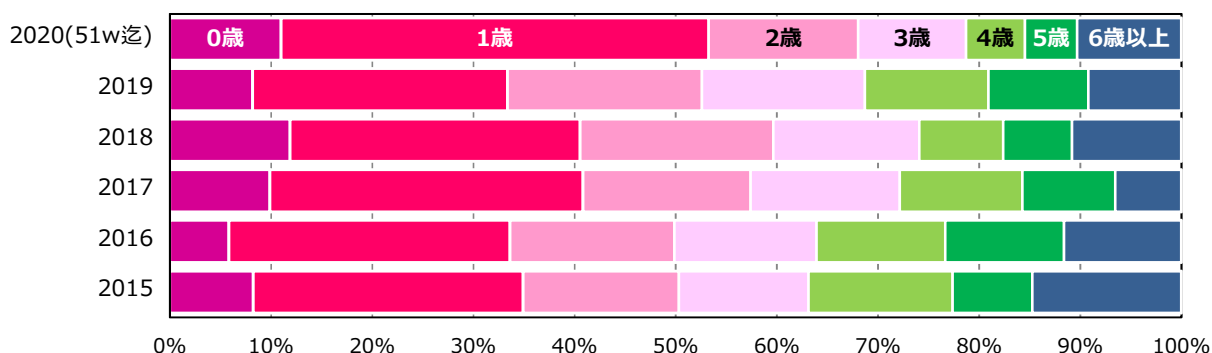


図3 京都市の年齢階級別割合の推移



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第51週

疾病,行政区別報告数

2020年12月14日～2020年12月20日

データ入手日:2020年12月23日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	1	-	17	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	1	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	10	26	7	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	3	3	36	1	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	2	7	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	15	35	71	6	3	1	10	4	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
北	-	-	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	0.25	-	4.25	0.25	-	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	-	-	-	-	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	-	-	0.20	0.20	-	-	0.20	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	-	-	1.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	-	-	2.00	5.20	1.40	0.20	0.20	-	0.20	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
伏見	-	-	0.43	0.43	5.14	0.14	0.14	-	0.57	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	-	-	-	0.40	1.40	0.40	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	-	-	0.35	0.81	1.65	0.14	0.07	0.02	0.23	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

2020年12月14日～2020年12月20日

データ入手日:2020年12月23日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上							
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		15	-	1	10	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		35	-	1	6	6	5	5	3	2	1	1	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		71	1	4	12	12	13	2	8	2	-	4	-	4	-	9	-	-	-	-	-	-	-
水痘		6	-	-	2	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		10	-	3	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		4	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.35	-	0.02	0.23	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.81	-	0.02	0.14	0.14	0.12	0.12	0.07	0.05	0.02	0.02	0.05	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		1.65	0.02	0.09	0.28	0.28	0.30	0.05	0.19	0.05	-	0.09	-	0.09	-	0.21	-	-	-	-	-	-
水痘		0.14	-	-	0.05	0.02	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.23	-	0.07	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.09	-	-	0.02	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2020年12月23日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	1	-	-	1	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	6	7	7	9	18	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	32	30	29	19	35
感染性胃腸炎	62	56	50	51	78	71
水痘	13	15	7	8	7	6
手足口病	7	3	6	-	1	3
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	1
突発性発しん	12	15	14	17	6	10
ヘルパンギーナ	4	4	4	4	9	4
流行性耳下腺炎	-	1	-	1	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	1	1	-	5	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	116	135	119	119	144	146

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	-	0.01	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	0.14	0.16	0.16	0.21	0.42	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.23	0.74	0.70	0.67	0.44	0.81
感染性胃腸炎	1.44	1.30	1.16	1.19	1.81	1.65
水痘	0.30	0.35	0.16	0.19	0.16	0.14
手足口病	0.16	0.07	0.14	-	0.02	0.07
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	0.02
突発性発しん	0.28	0.35	0.33	0.40	0.14	0.23
ヘルパンギーナ	0.09	0.09	0.09	0.09	0.21	0.09
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.02	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	0.10	0.10	-	0.50	-
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	2.77	3.21	2.84	2.77	3.72	3.40

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。